

友の会2025 会員募集!

▶▶ 会員期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 ◀◀

暮らしをもっと楽しく
豊かにする特典がいっぱい!

講座の受講料割引

兵庫県生活文化大学(神戸校・明石校・姫路校)の通年8講座や短期講座、田辺真人先生の「風土と文化の歴史学」等の受講料が割引となります。

コンサートのご招待・割引

リサイタルシリーズ各公演のご招待、チケットの割引があります。

文化情報紙「すずかけ」を送付

主催イベントをはじめ県内各地の催物などを掲載した、文化情報紙を毎月お届けします。舞台や展覧会などのチケットプレゼント情報もご案内します。

提携施設での優待割引

美術館・博物館や劇場、ホテル、店舗等の提携施設(約90カ所)で優待割引が受けられます。

【会費】 個人会員	3千円
ファミリー会員	5千円 (同一世帯2名)
団体会員	1万円



【問い合わせ】当協会文化振興部 ☎078・321・2002



第一線で活躍する研究者やアーティストから学ぶ「兵庫県生活文化大学」(写真は音楽鑑賞講座)



田辺真人先生の人気講座「風土と文化の歴史学」



ウォーキングしながら史跡・名所を巡る「ふるさとウォーク」(画像は昨年12月に訪れた武庫川女子大学 甲子園会館)



題字：井茂圭洞(書家・文化勲章受章者)

452号

2025年 2月号

SNS やっています!



Facebook



X (旧 Twitter)



YouTube



Instagram

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通
4丁目16番3号(兵庫県民会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長

▼ <https://hyogo-arts.or.jp>



兵庫県芸術文化協会 神戸ハーバーランドに移転します

3月21日(金)から、当協会の事務所及びびょうごアーティストサロンは、神戸ハーバーランド内の神戸情報文化ビルで業務を開始します。

■移転先

《住所》

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル(カルメニ)2F

《電話番号等》

決定次第、お知らせします。



神戸新聞本社や松方ホールがある神戸情報文化ビル。大きなキリンのオブジェが目印です

■移転に伴う休業期間

3月17日(月)から20日(木・祝)までの4日間、移転作業のため窓口業務及び電話受付はお休みさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。



協会からのお知らせ

4月からの講座、コンサートは 新会場で開催へ!

これまで兵庫県民会館で開催していました講座やコンサート等は、4月から装いを新たに下記のとおり会場を変更して開催します。

【兵庫県生活文化大学神戸校(通年6講座)】

神戸市立中央区文化センター(神戸市中央区東町115)
※従来どおり明石校はウィズあかし、姫路校は兵庫県立歴史博物館で開催します。

【風土と文化の歴史学(全3回)】

神戸市立長田文化センター ピフレホール(神戸市長田区若松町4-2-15)

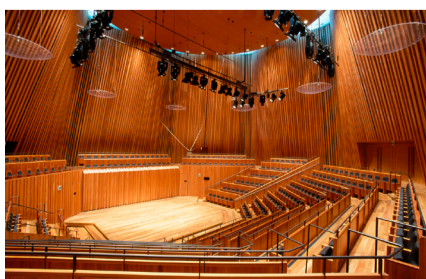
【リサイタルシリーズ】

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール(西宮市高松町2-22)

【ロビーコンサート】

横尾忠則現代美術館 オープンスタジオ(神戸市灘区原田通3-8-30)

兵庫県生活文化大学 通年8講座の年間カリキュラムは、本紙3月号に掲載します。その他の事業については、順次本紙及びホームページでご案内します。



兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール



横尾忠則現代美術館 オープンスタジオ

亀高文子記念—赤艸社賞

中山 明日香さん受賞



中山明日香さん

中山明日香さんは、川西市在住で京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻を修了。インテリアや庭先などの野外空間がテーマの絵画で、京都市立芸術大学作品展市長賞、京都府新鋭選抜展京都新聞賞などを受賞しています。人物が描かれないうちも人の気配を感じさせる表現、カラフルな色彩構成など独創的な世界観が魅力で、今後の活動に注目を集めています。

「亀高文子記念—赤艸社賞」は、明治から昭和にかけて活躍した画家、故・亀高文子氏のご遺族からの寄付をもとに創設されました。同氏が創立した「赤艸社女子洋画研究所」にちなんで名づけられ、第一線で活躍する女流洋画家を毎年顕彰しています。

坂井時忠音楽賞

チェロ北村 陽さん受賞



北村陽さん

北村陽さんは西宮市在住で、県立芸術文化センターのスーパーキッズ・オーケストラのオーディションに最年少(小2)で合格。10歳で初リサイタルを開催。その後、国内外の多数のオーケストラと共演。本県を拠点に国内や欧州で活動し、2023~2024年にかけて日本音楽コンクールと3つの国際コンクールで優勝し、国際的に注目が寄せられています。

現在は、ベルリン芸術大学、特待生として桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースに在籍。

「坂井時忠音楽賞」は、県域で精力的に活動し、将来の活躍が期待される新進の音楽家を奨励するものです。音楽に心を寄せた元兵庫県知事で当協会の会長だった故・坂井時忠氏にちなんだ賞です。

両賞の贈呈式は2月12日、神戸市灘区の前田の森ギャラリーで行います

催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※入場無料



- 第98回国展写真部選抜巡回展 in 神戸〈東館2階〉
写真約150点 ~2月2日(日)
- 書道香環展〈本館1・2階、東館1階〉 書約350点 ~2月2日(日)
- こうべ陶芸教室作陶展〈東館2階〉 陶芸約200点 2月4日(火)~9日(日)
- 第31回灘区シルバーアート展〈東館1階〉
書・絵画・写真・工芸約60点 2月5日(水)~9日(日)
- 第33回国際高校生選抜書展〈本館2階〉 書206点 2月5日(水)~9日(日)
- 第15回全国学生防災書道展〈本館1階〉 書約650点 2月7日(金)~9日(日)
- 第7回五国の魅力学生交流書道展〈本館1階〉 書約350点 2月7日(金)~9日(日)
- 神戸芸術工科大学卒展 カオス2025〈全館〉 総合約400点 2月14日(金)~16日(日)
- Egg展 神戸芸術工科大学アート・クラフト学科3年生学外展〈東館1・2階〉
油彩・アクリル・工芸・彫塑・立体約50点 2月20日(木)~23日(日)
- 第60回兵庫県書道展〈本館1・2階〉 書約1500点 2月22日(土)~3月9日(日)
※2月25日(火)、3月3日(月)休館
- 第67回新協神戸展〈東館1階〉 油彩・水彩・アクリル約30点 2月24日(月・祝)~3月2日(日)
※2月25日(火)休館
- つくしんぼ絵画展〈東館2階〉 油彩・水彩・アクリル約90点 2月24日(月・祝)~3月2日(日)
※2月25日(火)休館
- カフェギャラリー遊 ハートフル展〈障害者アートギャラリー〉
書・絵画・さをり織り・陶芸約20点 ~3月30日(日)

兵庫県立美術館 ☎078-262-1011



- 阪神・淡路大震災30年 企画展 1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち ~3月9日(日)
6組7名のアーティストによるグループ展で、自然災害や紛争に見舞われる現代に求められる希望を考える展覧会。
※観覧料1,600円ほか【友の会割引あり】

神戸市立博物館 ☎078-391-0035



- 特別展「古地図からひろがる世界—南波松太郎・蒐集70年の軌跡—」 ~3月23日(日)
東京帝国大学教授などを歴任し、古地図をこよなく愛した南波松太郎のコレクションから江戸時代の古地図「東亜航海図」など優品を選びすぐって公開。
※観覧料1,400円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切2月12日(水)必着

伊丹市立伊丹ミュージアム ☎072-772-5959



- I/M Collection(アイムコレクション)展 ~3月23日(日)
「博物館」「旅」「春」をテーマに、1937年のパリ万国博覧会のために描かれたラウル・デュフィの壁画《電気の精》のリトグラフ(10点組)など名品や初公開作品など約190点を展示。
※観覧料400円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切2月12日(水)必着

横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607



- 横尾忠則の人生スゴロク展 ~5月6日(火・振休)
展示空間をスゴロクに見立てた展覧会。遊びながら作品に親しむことができる前代未聞の企画展。
※観覧料700円ほか【友の会割引あり】

姫路市立書写の里・美術工芸館 ☎079-267-0301



- 開館30周年記念・新春特別展「24日本のガラス展 巡回展」 ~4月13日(日)
日本初のガラス作家団体である日本ガラス工芸協会の会員や公募入選者が手がけたガラス造形作品82点を展示。
※観覧料500円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切2月12日(水)必着

丹波市立植野記念美術館 ☎0795-82-5945



- 丹波市制20周年記念・作品受贈記念 丹波の南画家 安田家三代の系譜 ~3月16日(日)
仙境などを描いた文人画など中国由来の南宗画を日本的に解釈した絵画様式の南画。丹波市出身の南画家一派・安田家ゆかりの南画作品およそ200点を紹介します。
※観覧料310円ほか【友の会割引あり】

兵庫県立考古博物館加西分館 古代鏡展示館 ☎0790-47-2212



- 冬季スポット展示「干支 巳(み/シ)」 ~3月9日(日)
令和7年の干支「巳(シ)」(蛇)にちなみ、所蔵品の中から巳・蛇が描かれた鏡1面を展示するとともに、「干支」や「十二支」について紹介。
※観覧料100円(別途、県立フラワーセンター入園料が必要)

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 ☎0796-56-1000



- 館藏品展 馬頭琴コレクション ~4月22日(火)
国語の教科書でもおなじみの「スーホの白い馬」に登場する馬頭琴の館所蔵品を一挙に公開。普段は展示されていない馬頭琴や、そのほかの民族楽器も展示。
※観覧料500円ほか【友の会割引あり】

洲本市立淡路文化史料館 ☎0799-24-3331



- 館藏品展Ⅱ「直原玉青—生誕120年—」 ~4月20日(日)
南画界の巨匠・直原玉青画伯の生誕120年を記念し、同館の所蔵品を通して幼年期を洲本で過ごした画伯の足跡や画業とその魅力に迫ります。
※観覧料500円ほか

プレゼントのご応募について



- ①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。
*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会にて厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940 9時~21時・月曜休み※祝日の場合翌日



https://piccolo-theater.jp 兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証) アクセス▶■JR宝塚線塚口駅西出口より、西へ徒歩約5分 ■阪急神戸線塚口駅南出口より、南東徒歩約8分

ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

令和7年度生募集 (4月開講/1年間)



◀学校の詳細

日本を代表する劇作家・演出家・俳優、現役で活躍する舞台技術者を講師にむかえ、演劇や舞台づくりの基礎から実践まで、一年間かけて学べる学校です。夜間開講、そして公立ならではのリーズナブルな授業料により社会人・学生でも無理なく通えます。

ピッコロ演劇学校

◆初心者でもよくわかる、座学&実技とも充実のカリキュラム

◆半期ごとに発表会・公演を実施

◆「劇場が教室」という最高のメリット

【応募資格】原則18歳~35歳の方。ただし教育・文化活動に携わっている方は年齢の制限はございません。

【募集人数】本科40名(研究科20名※本科修了者対象)

【通常授業】原則毎週2回(火・木曜)18時40分~20時40分

【年間授業料】本科120,000円 研究科132,000円 ※3期分納

その他、日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義あり(土・日曜開催、年数回)



ピッコロ演劇学校

ピッコロ舞台技術学校

◆初心者でも安心!基礎から学べる丁寧な講義と実習

◆実際に劇場で使われている機材を使って学ぶ実践的な授業

◆プロとして活躍する卒業生も多数

【応募資格】原則18歳~40歳の方。ただし教育・文化活動に携わっている方は年齢の制限はございません。

【募集人数】30名

【通常授業】原則毎週2回(水・金曜)18時40分~20時40分

【年間授業料】100,000円 ※3期分納

その他、日本を代表する演劇人、舞台技術者による特別講義あり(土・日曜開催、年数回)



ピッコロ舞台技術学校

募集締切(両校共通)前期3月12日(水)、後期4月2日(水)

※郵送の場合、前期は3月11日(火)、後期は4月1日(火)必着

2025ピッコロ寄席

「子どもと楽しむ落語会」

【演目・出演】

「動物園」桂 二豆

<解説>落語について

~中入~

「四人ぐせ」桂 佐ん吉

「蛇含草」桂 吉弥

【日時】3月8日(土)14時

*開場13時30分~14時開演まで

お囃子体験ができます!

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】全席指定 一般2,500円 高校生以下1,000円

セット券(一般+高校生以下)3,000円 ※同時入場

※未就学児の入場はご遠慮ください。



ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

令和6年度合同卒業公演

【演目】※2作連続上演

《演劇学校本科41期生・舞台技術学校32期生》

『春の遺伝子』

作=河合穂高 潤色・演出=菅原ゆうき(ピッコロ劇団)

《演劇学校研究科40期生》『盛夏-長崎より-』

台本・演出=島守辰明(ピッコロ劇団)

【日時】3月1日(土)17時/2日(日)13時

【会場】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】要事前予約 自由席

一般1,500円 高校生以下1,000円



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時~17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



https://www.gcenter-hyogo.jp

アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)

■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

K A A T × 新ロイヤル大衆舎

花と龍

芥川賞受賞作家・火野葦平の自傳的小説で、幾度も映画化された「花と龍」。北九州・若松港を舞台に、ゴンゾと呼ばれる荷役労働者たちが独特の気風を誇りに活躍していた激動の時代を描きます。

開場中には舞台上に屋台が出ます!「花と龍」の作品世界を存分にお楽しみください。

【原作】火野葦平【脚本】齋藤雅文【演出】長塚圭史【音楽】山内圭哉

【出演】福田転球、山内圭哉、長塚圭史、大堀こういち ほか

【日時】3月8日(土)、9日(日) 各日13時

【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール【入場料】全席指定 8,800円



撮影:細野雷司
長塚圭史

沖澤のどか指揮 京都市交響楽団

《英雄の生涯》

今、世界の楽壇が熱視線をおくる指揮者・沖澤のどかが、常任指揮者を務める京都市交響楽団とやってくる!

前半は、日本人作曲家の筆頭・藤倉大による新作日本初演。ヴァイオリニスト金川真弓とフルート奏者クレア・チェイスによる豪華協演が予定されています。

後半は、リヒャルト・シュトラウスの最高傑作《英雄の生涯》。「特にドイツでは常任指揮者が必ず取り組む作品」と沖澤さんは語ります。

期待膨らむ春のひととき、ぜひお聴き逃しなく。

【日時】3月16日(日)15時

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】A席5,500円 B席4,500円、C席3,500円、D席2,000円

アレクサンダー・ガジェヴ&三浦謙司

ピアノ・デュオ・リサイタル

三浦謙司とアレクサンドル・ガジェヴ。2015年の浜松国際コンクールで出会い、意気投合して以来、切磋琢磨してきたふたりによる奇跡のようなコンサートが実現しました。

西洋の作曲家たちが描いた東洋の姿を、連弾と2台ピアノで表現する、彼らならではのプログラムです。

今をときめく二人のピアニストが描く、ワクワクする冒険のようなひとときをぜひ一緒にしませんか。

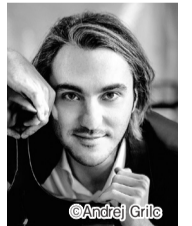
【日時】3月22日(土)14時

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】A席4,000円 B席3,000円、C席2,000円、D席1,000円



©Jeremy Knowles
三浦謙司



©Andrei Grig
アレクサンダー・ガジェヴ



©Felix Brosda
沖澤のどか



©井上写真事務所 井上嘉和
京都市交響楽団

第11回 日展 神戸展

国内最大級の総合美術展で知られる日本美術展覧会「日展」が、六甲アイランド(神戸市東灘区)の神戸ゆかりの美術館と神戸ファッション美術館で開催されます。

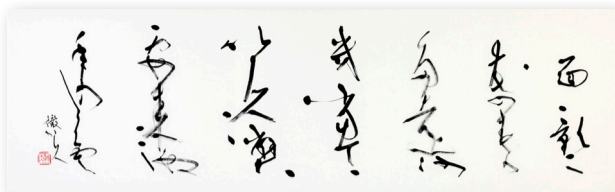
日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5分野からなる公募展で、特選を含む全国を巡回する基本作品に加え、地元作家の入選作品(兵庫、大阪、奈良、和歌山)など総数約530点を一堂に展覧します。今年度は内閣総理大臣賞の栄誉に輝いた田中徹夫氏の書「花の姿」をはじめ、本県在住の作家作品157点が紹介されます。ぜひ足を運んで、見る者を圧倒する大作の数々を堪能してください。

【日時】2月15日(土)～3月23日(日)午前10時～17時(入館は16時30分まで)

【場所】神戸ゆかりの美術館、神戸ファッション美術館【休館】月曜日(ただし2月24日は開館、翌25日休館)

【観覧料】一般1,200円、大学生・65歳以上600円、高校生以下無料 *本展の当協会友の会会員へのご優待はございません

【問い合わせ】神戸ゆかりの美術館 ☎078・858・1520



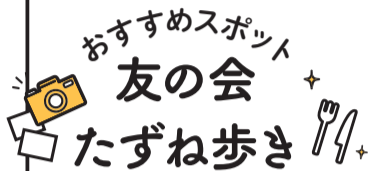
書「花の姿」田中徹夫(会員・内閣総理大臣賞/兵庫)



洋画「MEMORY」渡邊明(会員/兵庫)

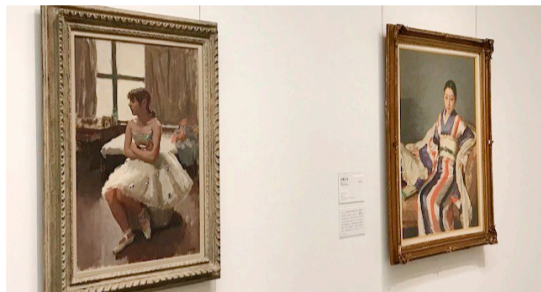


5組10人にチケットプレゼント。締切2月12日(水)必着



神戸市立小磯記念美術館 洋画家・小磯良平の功績顕彰 作品を収集、研究 アトリエも復元

小磯良平の代表的作品。「踊り子」と「着物の女」



神戸市東灘区の六甲アイランドに、日本を代表する洋画家・小磯良平(1903～1988)の功績を顕彰する美術館があります。1992年、緑豊かな六甲アイランド公園内に開館した神戸市立小磯記念美術館です。



小磯良平

神戸で生まれ、神戸で制作を続けた小磯は85歳で世を去ります。翌年には遺族から約2千点の作品が神戸市に寄贈され、市は美術館建設とともに小磯の作品収集や保存、調査研究、普及活動を行っています。収蔵作品は現在、約3300点上ります。

延床面積約4千㎡の館内に3つの展示室や週末に映像を鑑賞できるシアターがあります。中庭には神戸・住吉にあった小磯のアトリエが移築・復元され、イーゼルやパレット、モチーフとなった楽器、人形などを目にできます。

小磯はクリスチアンの家庭で育ち、県立神戸第二中(現兵庫高)に進学、生涯の友となる詩人の竹中郁と出会います。東京美術学校(現東京藝術大学)に入学し、帝展入選、首席で卒業、フランス留学と経歴を積み、神戸に戻って精力的に絵筆を振ります。優れた素描力を生かした肖像画や群像が有名です。太平洋戦争後は母校の大学教授として後進を指導、神戸～東京を

往復します。1983年には文化勲章を受章、神戸市の名誉市民にも選ばれます。

館では小磯の収蔵作品を入れ替えながら紹介しています。現在は作品30点を時代順に展示。金井紀子学芸員は「戦前、戦後にかけて10年ごとに変化する小磯の画風の変遷を見てほしい」と話します。

小磯以外の神戸ゆかりの美術家にも光を当てようと、コレクション企画展示「昭和の洋画」(4月6日まで)を開催。没後80年の洋画家・林重義(1896～1944)を中心に、金山平三ら昭和に活躍した画家の油彩、リトグラフなど85点を展示しています。

林は小磯より7年先人です。京都で日本画を学んだ後、洋画に転向、道化師の作品や六甲山の風景、舞妓などを多く描きます。洋画と日本画の中間のような独自の表現を生み出しますが、期待されながらも47歳で病没、その才能を惜しまれたそうです。



林重義(舞妓(赤))

灘五郷の酒蔵めぐり

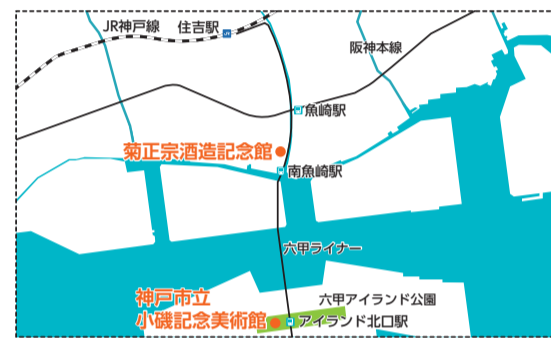
美術館から六甲ライナーで一駅、南魚崎駅の近くに菊正宗酒造記念館があります。2月8日には毎年恒例の蔵開きイベントが開かれ、新酒



菊正宗酒造記念館の外観



小磯記念美術館の外観



おでかけ ちょっとメモ

▶神戸市立小磯記念美術館＝神戸市東灘区向洋町中5-7。開館時間は10時～17時(入館は16時半まで)。休館は月曜(祝休日の場合は翌日)、年末年始、展示替え期間。入館料は、コレクション企画展示が一般200円(160円)、大学生100円。高校生以下無料。特別展は展覧会ごとに定める。()内は当協会友の会料金。JR住吉駅、阪神魚崎駅から六甲ライナーに乗り換え、アイランド北口駅(小磯記念美術館前)下車、徒歩約3分。☎078-857-3737

▶菊正宗酒造記念館＝神戸市東灘区魚崎西町1-9-1。開館時間は9時半～16時半(入館は16時まで)。休館は年末年始。入館無料。六甲ライナー南魚崎駅から徒歩約2分、阪神魚崎駅から徒歩約10分。☎078-854-1029

の振舞酒などが行われます。神戸市から西宮市にかけての沿岸部は「日本一の酒どころ」灘五郷(西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の総称)です。酒蔵をめぐり、酒造り見学や灘の酒の試飲が楽しめます。

読者プレゼント
神戸市立小磯記念美術館の招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。2月12日(水)必着。

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs



～つなぐ・つながる創造的な看護～

兵庫県看護協会は、県内在住の保健師・助産師・看護師・准看護師が加入する職能団体です。

私たちは看護職の資質向上と、県民の皆さまの健康と福祉の増進を目標に活動しています。

***看護の仕事にご興味はありませんか。**

中高生の皆様・・・看護の仕事をめざしませんか。看護に関心・理解を深められるようサポートします。

潜在看護職の皆様・・・多様な働き方が広がっています。あなたに合った復職支援をサポートします。

看護の資格のない皆様・・・特別な資格がなくても「看護補助者」として大切な役割を担っていただけます。

ハローワークにご相談ください。

皆様からのご連絡をお待ちしております。



公益社団法人兵庫県看護協会

〒650-0011神戸市中央区下山手通5-6-24

TEL078-341-0190

